

ワクチン1瓶5回に削減でも接種遅れなし 田村厚労相が見通し示す

2021.2.10 17:31 | ライフ | 暮らし

田村憲久厚生労働相は10日の衆院予算委員会で、米ファイザー製の新型コロナウイルスワクチン1瓶当たりの接種回数を6回から5回に減らすことを巡り、医療従事者から始める接種計画の遅れにはつながらないとの認識を示した。「5人分取れる注射器は十分確保している」と述べた。立憲民主党の奥野総一郎氏への答弁。

近く接種開始予定のファイザー製ワクチンについては、1瓶から政府が想定した6回分を取れる特殊な注射器が確保できておらず、契約量が7200万人分相当から1200万人分減る可能性が浮上している。

田村氏は、新型コロナ対策のスマートフォン向け接触確認アプリ「COCOA（ココア）」で起きた障害を重ねて陳謝。責任を取って閣僚給与を返納すべきだとの要求には「参考にする」と語るにとどめた。



衆院予算委員会で答弁する田村憲久厚労相 = 10日午後、国会・衆院第1委員室（春名中撮影）